



新工SPH通信

VOL.35

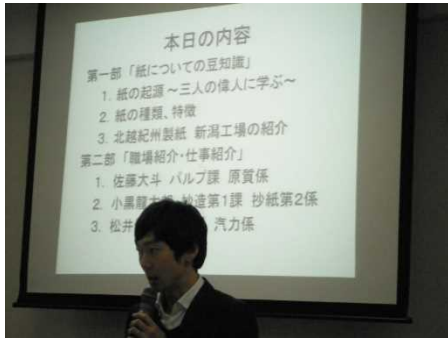
新潟県立新潟工業高等学校

SPH推進委員会

平成29年12月22日

Community cooperation

工業化学科では「高度化した環境保全技術を活用し、化学物質を安全に取り扱うための力を身につけ」、地域企業で活躍する人材育成を主眼としてSPHに取り組んでいます。今回は本事業の企業連携の一環として11月30日(木)に本科の多くの卒業生が活躍する北越紀州製紙(株)より、事務部総務担当 赤熊伸吾様そして本校OBである佐藤さん、小黑さん、松井さんをお迎えして企業概要、所属部署の仕事内容と化学との関わりについて、また自身の高校生活を踏まえての後輩に対するメッセージなどについてお話をいただきました。



【講義内容】

- 第一部「紙についての豆知識」
 1. 紙の紀元～三人の偉人に学ぶ～
 2. 紙の種類・特徴
 3. 北越紀州製紙新潟工場の紹介
- 第二部「職場紹介・仕事紹介」
 1. 佐藤次斗 パルプ課 原質係
 2. 小黑啓太 抄造第1課 抄紙第2係
 3. 松井 汽力係

【生徒の感想】

- 紙を作るだけの会社ではなく、化学と世界を結んだ大きな会社であることに気づいた。
- いつも使っている紙が一つ一つの過程を経てできていることがよく分かった。
- 紙の無い頃に木や石を使用して文字を書いていたこと、また、木材チップから紙が作られていることがわかった。
- 私は将来、紙製造系の会社に就職したいと考えているので、とても良い機会となった。実際に働かれている方々のリアルなお話が聞けてよかった。多くの物質が出てきて難しかった。
- 多くの紙が生産されているにも関わらず、日頃、スマホばかりいじっているのに紙との関わりをあまり実感することがなかったが、実はいろいろなところで紙と関わっていることに気が付き、もっと紙を使っていきたいと思うようになった。
- 資格を取りたいと思うようになった。
- 製紙工場でも化学に関わる要素が多く、様々なところに化学物質が隠れていることがわかった。
- 工場内での仕事は一人で取り組むもの、グループで取り組むものなど、さまざまな形があることが分かった。



【生徒の変容と身についた力】

- 企業人としての生のお話をじっくりとお聞きする機会を得て、省エネルギーやコストダウンを意識しながら企業活動をされていることや、商品開発での苦労を知ることができました。
- 生徒にとって一面的には「化学」との関わりがイメージしにくい企業でも、モノづくりの奥深いところで化学との関わりがあることを知り、化学の重要性を再認識することができました。
- あいさつをすることやマナーを守ることなど、仕事をする上で人間としての基本を身につけることの大切さや、先輩として学生生活を過ごす上での気持ちの持ち方などについてアドバイスをもらうなど1年生にとって大変参考になる話をお聞きすることができました。